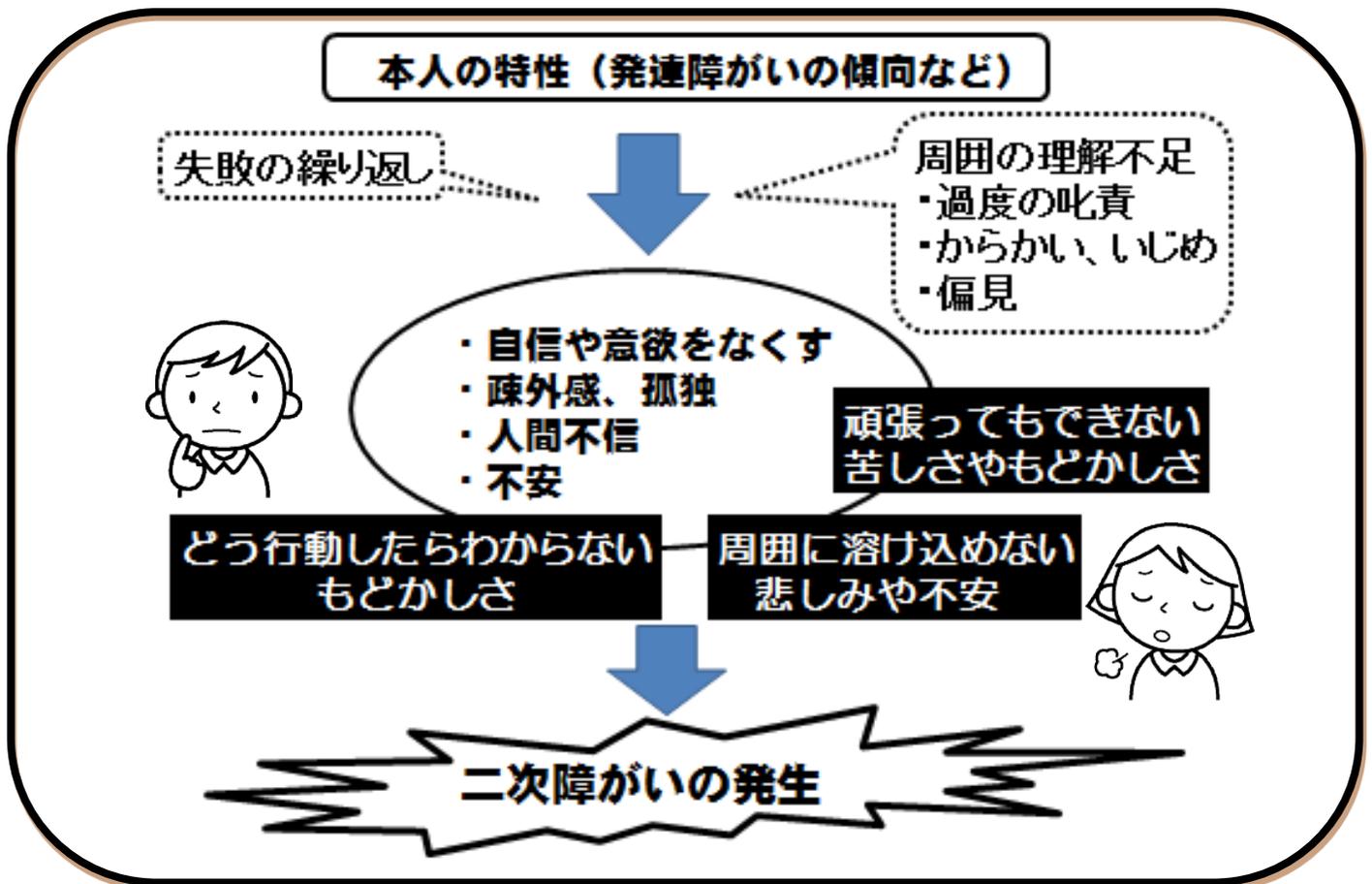


* 「二次障がい」って知っていますか？

発達障がいをはじめとする、強い特性がある場合、その特性から、頑張っても上手くいかないことが多く、失敗を重ねることで周りから叱責され、理解もされず、つらい思いを抱えている人が少なくありません。こうした状態が続くと、「自分はダメな人間だ」と自身を責めたり、「頑張ってもどうせだめだ」と思って、本来できることもできなくなってしまったりすることがあります。こうした不安や緊張が原因で、本来ある発達障がいとはまた別の特性や行動（暴力的な言動、体調不良、うつ等）があらわれることを二次障害と言います。



「なぜ？」を知って対応することが大切

二次障がいの症状が現れると、本来の特性に対する支援だけでは上手くいかず、トラブルになったり、周囲への不信感を抱きやすくなったりします。一方で、発達障がいがあっても、自分に自信があれば二次障がいが見れることも少なくなります。

子どもたちの気になる姿、課題とされる行動には、それぞれ理由があります。同じ行動に見えても、人によって、状況によって、その理由は異なります。そのため、周囲の人たちは、「なぜそうなのか」、その理由を知った上でかかわっていくことが大切です。

子どもたちの気になる姿、困った行動は、「ぼくのこと、わたしのこと、わかって！」というSOSのサインです。そのサインを受け止め、適切な支援や声かけを行うことが、適切な成長につながり、二次障がいを防ぐ一番の方法でとなります。